

<第1回ボランティア講座>

6月2日、下特でボランティア講座が行われました。近隣の高校生が、下特の先生方からボランティアに関するレクチャーを受け、車椅子の押し方などの練習をしました。車椅子体験は初めての人も多かったので、思った通りに動かすことができず



に、あちこちぶついたりしてしまいました。押し始める前に必ず声かけをすることや、乗り降りにはブレーキを忘れないことなど、大切なことをたくさん学ぶことができました。

<サマークラブ>

8月4日、サマークラブが行われました。オープニングでは、石下紫峰高校の生徒さんが和太鼓の演奏をしてくれました。とても迫力がありました。その後、いろいろな体験コーナーに分かれて楽しみました。妻二の生徒は、各ブ



<運動会> 10月13日、下妻特別支援学校第25回運動会が行われました。



私は今回下特の運動会に参加して、ボランティアのやりがいや楽しさを改めて感じることができました。私は準備係として今回参加しました。競技と競技の合間で準備をするのは大変でしたが、みんな楽しそうに競技を行っているのを見るととてもやりがいを感じました。

(妻二高1 寺田美紀)



テントの中で一緒に応援して盛り上げることができてよかったです。たくさん話をしたりタッチをしたりできてとても嬉しかったです。

(下特高3 館野翔瑠美)



移動の際に車いすを押していただいたり、競技の準備や片付けをしていただいたり、ありがとうございました。(下特高3 小川拓海)

私は初めて下特の運動会に参加し、いろいろな体験をすることができました。以前のボランティア体験で車椅子の体験をしたことがあり、その経験を生かして、生徒さんの車椅子を押す前に声をかけてから押すということができました。これまで経験してきたことが役に立ってよかったです。

(妻二高2 會田安澄)

☆☆☆オリンピック・パラリンピック教育推進事業☆☆☆

『やるか・やらないか』

10月24日、パラリンピックアルペンスキーに出場した三澤拓さんを下妻二高にお招きして、一年生対象に講演会を開きました。六歳の時に交通事故で左足を切断した三澤氏ですが、野球部でピッチャー、主将を務めたり、高校時代はスキーでニュージーランドに留学したりと、そのポジティブな生き方に一同感銘を受けました。生徒からは「できないからやらないというのではなく、やってみてから判断するという前向きな姿勢に感動した。」「今までパラリンピックはあまり見ていなかったけれど、次のパラリンピックは家族で見ようと思った。」「パラリンピックのボランティアをやってみたくなった。」などの感想が寄せられ、多くの生徒が三澤さんのお話に勇気をもることができました。この日、1BS茨城放送が取材に来ました。講演会の様子は、ラジオで2度に渡り放送されました。



義足を外した三澤さん。この後ステージからジャンプで飛び降りた。